

# 路上における喫煙に関する アンケート調査報告書

---

平成 22 年 1 月

八尾市

# 目 次

	ページ
I. 調査概要.....	1
II. 調査結果（選択項目 1～8） .....	2
1. 性別 .....	2
2. 居住地.....	2
3. 年齢 .....	3
4. 喫煙状況.....	5
5. 吸い殻の処理.....	7
6. 路上喫煙への意識について.....	8
7. 路上喫煙による被害等の経験 .....	9
8. 被害時の喫煙者の状況 .....	11
9. マナー向上の手法 .....	11
10. 路上喫煙禁止区域の設定 .....	12
III. 調査結果（項目 9 自由意見） .....	14
IV. 路上における喫煙に関するアンケート調査票.....	16

# I 調査概要

---

## 1. 調査の目的

「(仮称) 八尾市路上喫煙マナーの向上を市民とともに推進する条例」の制定に向けた検討を行っていくにあたって、路上における喫煙に関する意見等を広く聴取することを目的とする。

## 2. 調査方法

### (1) 実施方法

八尾市役所本館及び出張所の窓口への配架をはじめ、やお河内音頭まつりなどのイベントにおいて路上アンケートを行うほか、ホームページ上でもアンケートを掲載し、メールや郵送での返送を受け付けるなど、さまざまな手法において、八尾市民であるか否かを問わず、広く意見募集する方法にて実施。

### (2) 調査期間

平成 21 年 8 月 3 日 (月) ～9 月 14 日 (月)

※ ホームページへの掲載は 8 月 18 日 (火) ～9 月 14 日 (月)

## 3. 調査の内容

### (1) 回答者の基本属性

- ・ 性別
- ・ 居住地
- ・ 年齢

### (2) 喫煙の有無

### (3) 吸い殻の処理

### (4) 路上喫煙についての思い

### (5) 路上喫煙による被害などの経験

### (6) 路上喫煙による被害を受けた時の相手の状況

### (7) 路上喫煙マナー向上のための効果的な取り組み

### (8) 路上喫煙禁止区域の設定

### (9) 自由意見

## 4. 回収件数

3,098 件

## 5. 報告書における集計等に関する留意点

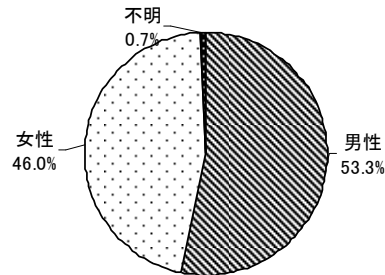
- ・ 質問ごとに、いずれかひとつの回答を求める質問については、無回答及び複数回答をしている場合に「不明」として集計を行った。
- ・ 比率はすべて、各項目の「不明」回答を含む集計対象総数に対する百分率で表している。
- ・ 百分率は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までの表示とした。四捨五入の結果によって合計が 100%とならない場合もある。
- ・ 百分率の比較に用いる単位は、「〇〇ポイント」という表現とし、結果を分かりやすく表現するために、必要に応じて結果の考察に「〇割」「半数程度」「〇分の 1」などの表現も用いている。

## Ⅱ 調査結果（選択項目 1～8）

質問 1 あなたのことについてお聞かせください。

### 1. 性別

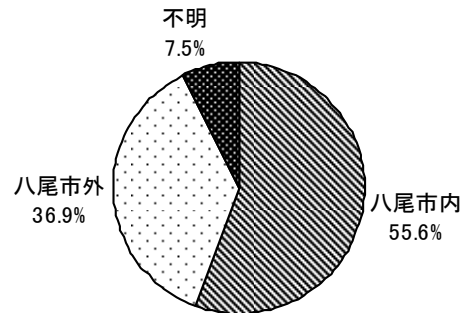
	件数	割合
男性	1,652 件	53.3%
女性	1,424 件	46.0%
不明	22 件	0.7%
合計	3,098 件	100%



性別をみると、「男性」が 53.3%、「女性」が 46.0%で、男性のほうが若干多めの回答を得ている。

### 2. 居住地

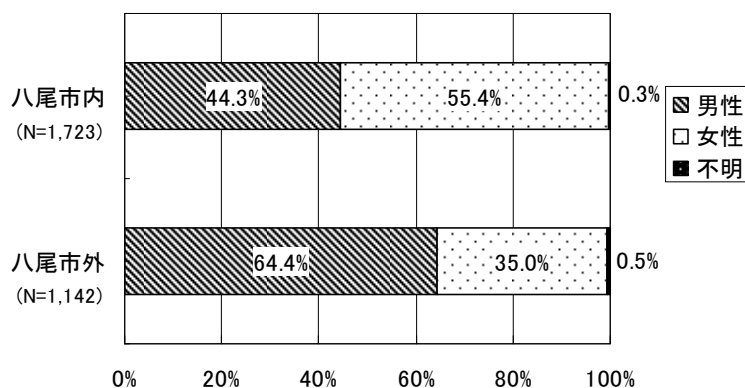
	件数	割合
八尾市内	1,723 件	55.6%
八尾市外	1,142 件	36.9%
不明	233 件	7.5%
合計	3,098 件	100%



居住地別でみると、「八尾市内」が 55.6%で、半数以上を占めている。一方、「八尾市外」からも 36.9%の回答を得ている。

#### 【性別×居住地 クロス集計】

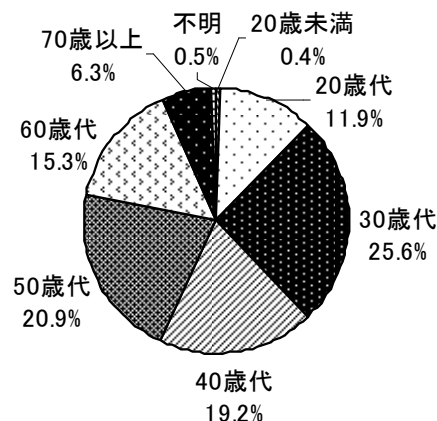
	八尾市内	八尾市外	不明	合計
男性	763 件	736 件	153 件	1,652 件
	44.3%	64.4%	65.7%	53.3%
女性	955 件	400 件	69 件	1,424 件
	55.4%	35.0%	29.6%	46.0%
不明	5 件	6 件	11 件	22 件
	0.3%	0.5%	4.7%	0.7%
合計	1,723 件	1,142 件	233 件	3,098 件
	100%	100%	100%	100%



これを性別でみると、「八尾市内」での回答は、「女性」が半数以上を占め、「八尾市外」での回答は、「男性」が6割以上を占めるという結果になった。

### 3. 年齢

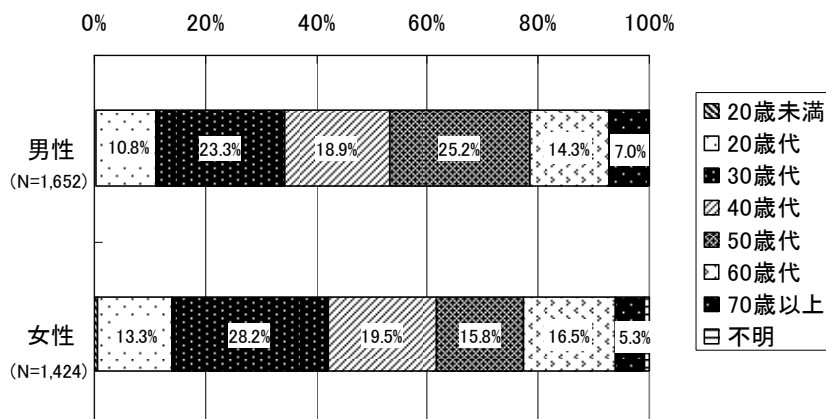
	件数	割合
20歳未満	13件	0.4%
20歳代	369件	11.9%
30歳代	792件	25.6%
40歳代	594件	19.2%
50歳代	648件	20.9%
60歳代	474件	15.3%
70歳以上	194件	6.3%
不明	14件	0.5%
合計	3,098件	100%



年齢でもっとも多かったのは、「30歳代」で25.6%を占める。次いで、「50歳代（20.9%）」、「40歳代（19.2%）」となっている。

#### 【性別×年齢 クロス集計】

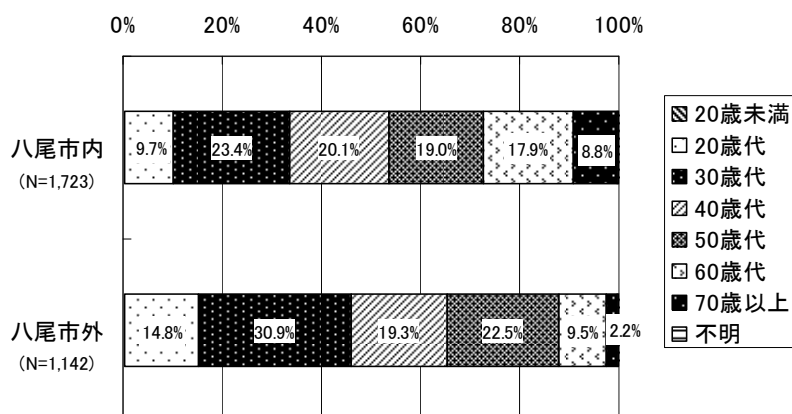
	男性	女性	不明	合計
20歳未満	5件	8件	0件	13件
	0.3%	0.6%	0.0%	0.4%
20歳代	178件	189件	2件	369件
	10.8%	13.3%	9.1%	11.9%
30歳代	385件	402件	5件	792件
	23.3%	28.2%	22.7%	25.6%
40歳代	313件	278件	3件	594件
	18.9%	19.5%	13.6%	19.2%
50歳代	416件	225件	7件	648件
	25.2%	15.8%	31.8%	20.9%
60歳代	237件	235件	2件	474件
	14.3%	16.5%	9.1%	15.3%
70歳以上	115件	76件	3件	194件
	7.0%	5.3%	13.6%	6.3%
不明	3件	11件	0件	14件
	0.2%	0.8%	0.0%	0.5%
合計	1,652件	1,424件	22件	3,098件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



性別に年齢分布をみると、男性は 50 歳代が 25.2%と女性に比べて 10 ポイント多いのに対し、女性では、30 歳代が 28.2%と最も多くなっている。

【性別×居住地 クロス集計】

	八尾市内	八尾市外	不明	合計
20 歳未満	8 件	5 件	0 件	13 件
	0.5%	0.4%	0.0%	0.4%
20 歳代	167 件	169 件	33 件	369 件
	9.7%	14.8%	14.2%	11.9%
30 歳代	404 件	353 件	35 件	792 件
	23.4%	30.9%	15.0%	25.6%
40 歳代	347 件	220 件	27 件	594 件
	20.1%	19.3%	11.6%	19.2%
50 歳代	328 件	257 件	63 件	648 件
	19.0%	22.5%	27.0%	20.9%
60 歳代	309 件	109 件	56 件	474 件
	17.9%	9.5%	24.0%	15.3%
70 歳以上	152 件	25 件	17 件	194 件
	8.8%	2.2%	7.3%	6.3%
不明	8 件	4 件	2 件	14 件
	0.5%	0.4%	0.9%	0.5%
合計	1,723 件	1,142 件	233 件	3,098 件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

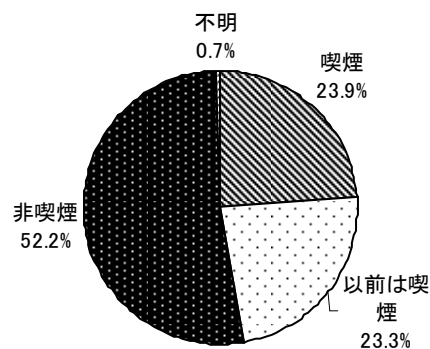


居住地別で年齢分布をみると、八尾市内は 60 歳以上の割合が 26.7%であるのに対し、八尾市外では 60 歳以上の割合が 11.7%と、15 ポイントの差があるが、これは、八尾市外の回答はその多くを八尾市内に勤務する人から回答いただいていることが原因であると考えられる。

#### 4. 喫煙状況

質問2 あなたはたばこを吸われますか。(いずれかひとつ)

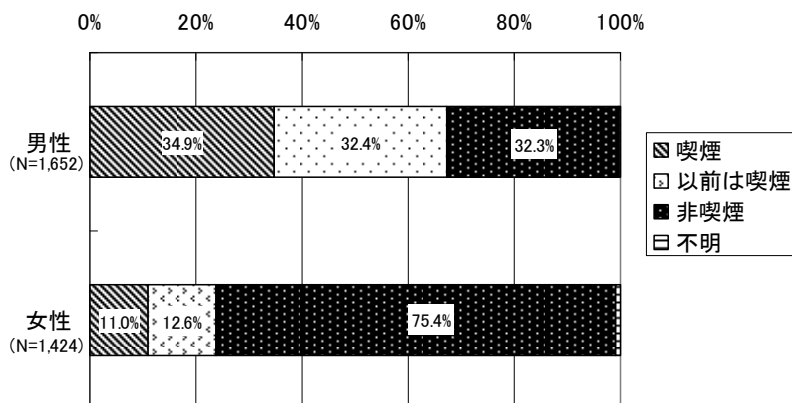
	件数	割合
吸っている※1 (喫煙)	739 件	23.9%
以前は吸っていたが、今は吸っていない (以前は喫煙)	721 件	23.3%
たばこを吸ったことがない (非喫煙)	1,617 件	52.2%
不明	21 件	0.7%
合計	3,098 件	100%



喫煙状況を見ると、喫煙者が 23.9%、非喫煙者が 75.5%となった。JTが発表した2009年「全国たばこ喫煙者率調査」によると、喫煙者率は 24.9%であったという結果からみてもほぼ全国の実態に近い割合となっていることが分かる。

#### 【参考】性別 喫煙状況 クロス集計

	男性	女性	不明	合計
喫煙	576 件	157 件	6 件	739 件
	34.9%	11.0%	27.3%	23.9%
以前は喫煙	536 件	180 件	5 件	721 件
	32.4%	12.6%	22.7%	23.3%
非喫煙	534 件	1,073 件	10 件	1,617 件
	32.3%	75.4%	45.5%	52.2%
不明	6 件	14 件	1 件	21 件
	0.4%	0.8%	0.1%	1.3%
合計	1,652 件	1,424 件	22 件	3,098 件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



同じく、JT発表した2009年「全国たばこ喫煙者率調査」によると、男性の喫煙者率は 38.9%であり、女性の喫煙率は 11.9%であったという結果と比較しても、ほぼ全国の実態に近い割合となっていることが分かる。

平成21年全国たばこ喫煙者率調査結果

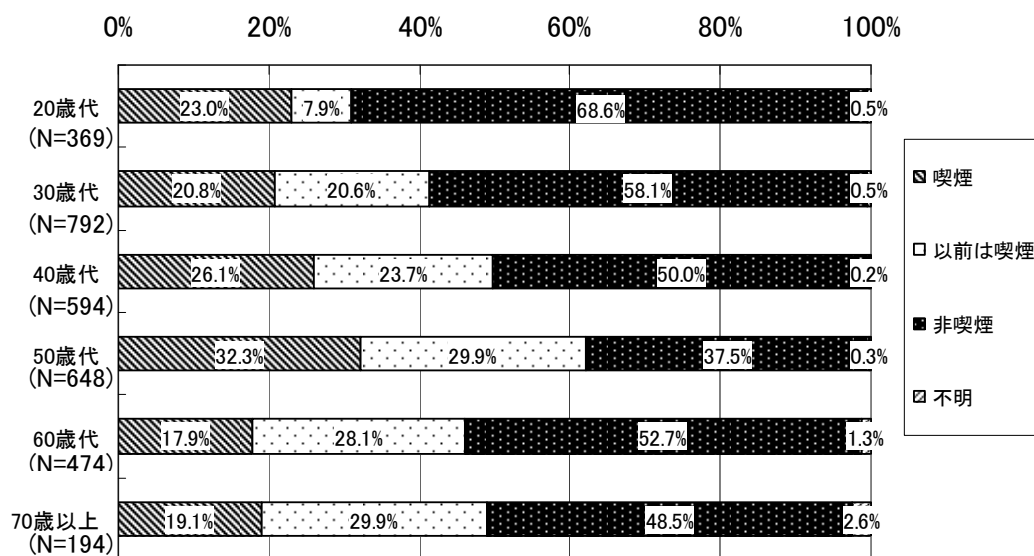
引き続き微減傾向で推移。JTが先ごろ発表した2009年「全国たばこ喫煙者率調査」結果によると、男性の喫煙者率は38.9%（前年調査比0.6ポイント減）、女性は11.9%（同1.0ポイント減）で、男女計24.9%（同0.8ポイント減）は14年連続で過去最低となった。

この喫煙者率から推定される喫煙人口は男性が1957万人（同27万人減）、女性644万人（同52万人減）で、男女計2601万人で、前年より79万人の減少。

（2009.9.15 たばこ塩産業新聞（販売流通版）より）

【参考】年齢別 喫煙状況 クロス集計

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
喫煙	1件 7.7%	85件 23.0%	165件 20.8%	155件 26.1%	209件 32.3%	85件 17.9%	37件 19.1%	2件 14.3%	739件 23.9%
以前は喫煙	0件 0.0%	29件 7.9%	163件 20.6%	141件 23.7%	194件 29.9%	133件 28.1%	58件 29.9%	3件 21.4%	721件 23.3%
非喫煙	12件 92.3%	253件 68.6%	460件 58.1%	297件 50.0%	243件 37.5%	250件 52.7%	94件 48.5%	8件 57.1%	1,617件 52.2%
不明	0件 0.0%	2件 0.5%	4件 0.5%	1件 0.2%	2件 0.3%	6件 1.3%	5件 2.6%	1件 7.1%	21件 0.7%
合計	13件 100.0%	369件 100.0%	792件 100.0%	594件 100.0%	648件 100.0%	474件 100.0%	194件 100.0%	14件 100.0%	3,098件 100.0%

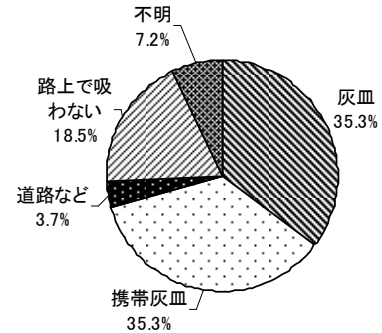


年齢別の喫煙状況を見ると、60歳以上の人の喫煙率が2割弱と比較的低く、喫煙率が最も高いのは50歳代の32.3%である。特に50歳代では、喫煙経験のある人の割合が、たばこを吸ったことがない人の割合を大きく上回っている。

## 5. 吸い殻の処理

質問3 路上で吸ったたばこの吸い殻を主にどうしていますか。(いずれかひとつ)

	件数	割合
灰皿がある場所でたばこを吸い、灰皿に捨てている【灰皿】	261 件	35.3%
持ち歩いている携帯用の灰皿に捨てている【携帯灰皿】	261 件	35.3%
道路や溝などに捨てている【道路など】	27 件	3.7%
路上でたばこは吸わない【路上で吸わない】	137 件	18.5%
不明(回答なしを含む)	53 件	7.2%
合計	739 件	100%

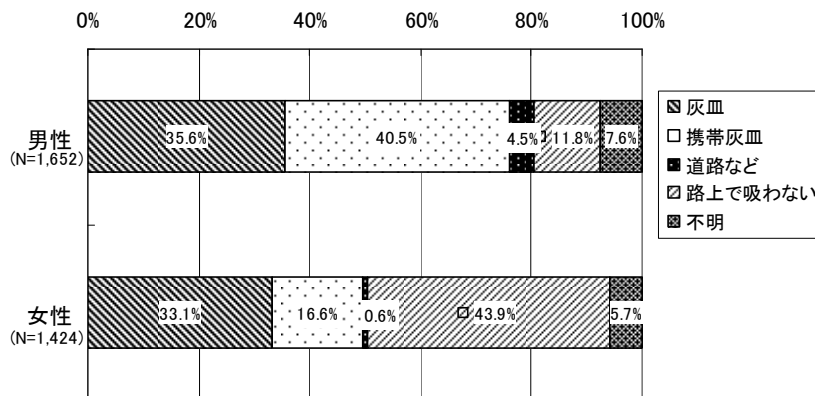


吸い殻の処理については、灰皿のある場所で吸い、灰皿に捨てているという人の割合と携帯灰皿に捨てているという人の割合が、それぞれ 35.3% になっている。

一方で、3.7% の人が道路などに捨てていると回答しており、平成 21 年 9 月末現在の八尾市の 20 歳以上人口 (272,499 人) の 23.9% が喫煙者であると想定した場合 (65,127 人) について、3.7% の割合で路上に捨てていると仮定すると、2,410 人が路上でのポイ捨てをしている可能性があるということになる。(アンケートには、市外の人も含まれるため、あくまでも仮計算値)

### 【参考】性別 吸い殻の処理 クロス集計

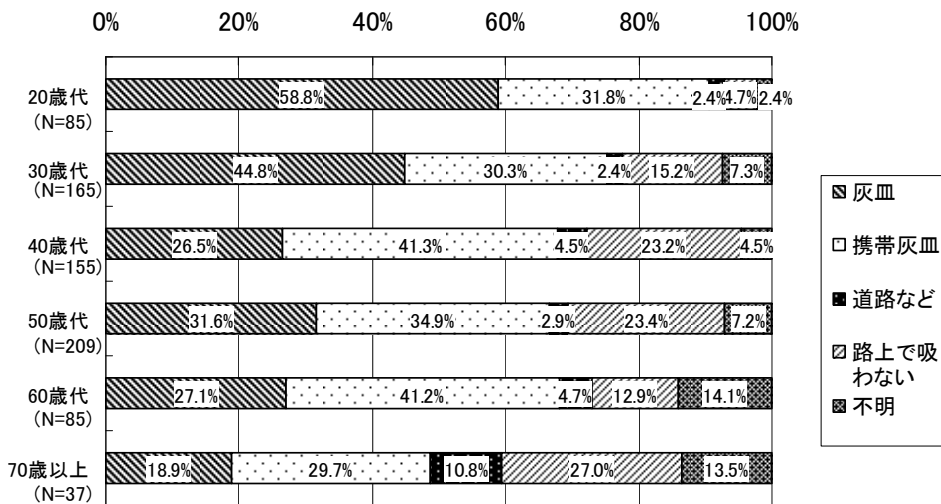
	男性	女性	不明	合計
灰皿	205 件	52 件	4 件	261 件
	35.6%	33.1%	66.7%	35.3%
携帯灰皿	233 件	26 件	2 件	261 件
	40.5%	16.6%	33.3%	35.3%
道路など	26 件	1 件	0 件	27 件
	4.5%	0.6%	0.0%	3.7%
路上で吸わない	68 件	69 件	0 件	137 件
	11.8%	43.9%	0.0%	18.5%
不明	44 件	9 件	0 件	53 件
	7.6%	5.7%	0.0%	7.2%
合計	576 件	157 件	6 件	739 件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



吸い殻の処理について、男女別に結果をみると、男性は主に携帯灰皿に捨てている人の割合が4割以上を占めているのに対し、女性は、路上では吸わない人が4割以上を占めており、女性の場合は、携帯灰皿を持ち歩いて路上で吸うという割合が低いことが分かる。

【参考】年齢別 吸い殻の処理 クロス集計

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明	合計
灰皿	0件	50件	74件	41件	66件	23件	7件	0件	261件
	0.0%	58.8%	44.8%	26.5%	31.6%	27.1%	18.9%	0.0%	35.3%
携帯灰皿	0件	27件	50件	64件	73件	35件	11件	1件	261件
	0.0%	31.8%	30.3%	41.3%	34.9%	41.2%	29.7%	50.0%	35.3%
道路など	0件	2件	4件	7件	6件	4件	4件	0件	27件
	0.0%	2.4%	2.4%	4.5%	2.9%	4.7%	10.8%	0.0%	3.7%
路上で吸わない	1件	4件	25件	36件	49件	11件	10件	1件	137件
	100.0%	4.7%	15.2%	23.2%	23.4%	12.9%	27.0%	50.0%	18.5%
不明	0件	2件	12件	7件	15件	12件	5件	0件	53件
	0.0%	2.4%	7.3%	4.5%	7.2%	14.1%	13.5%	0.0%	7.2%
合計	1件	85件	165件	155件	209件	85件	37件	2件	739件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

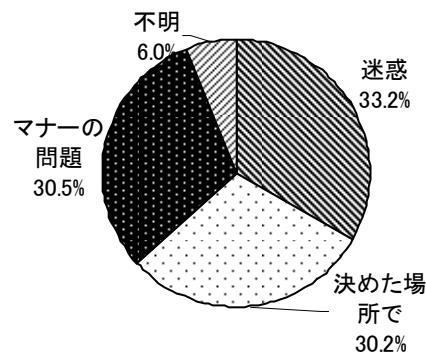


吸い殻の処理について、年齢別に結果をみると、20歳代、30歳代において路上で吸わないという割合が比較的少なく、全体的に灰皿のあるところで喫煙をするという人の割合は、若い世代のほうが高くなっている傾向が分かる。

## 6. 路上喫煙への意識について

質問4 あなたは路上での喫煙についてどのように思われますか。(いずれかひとつ)

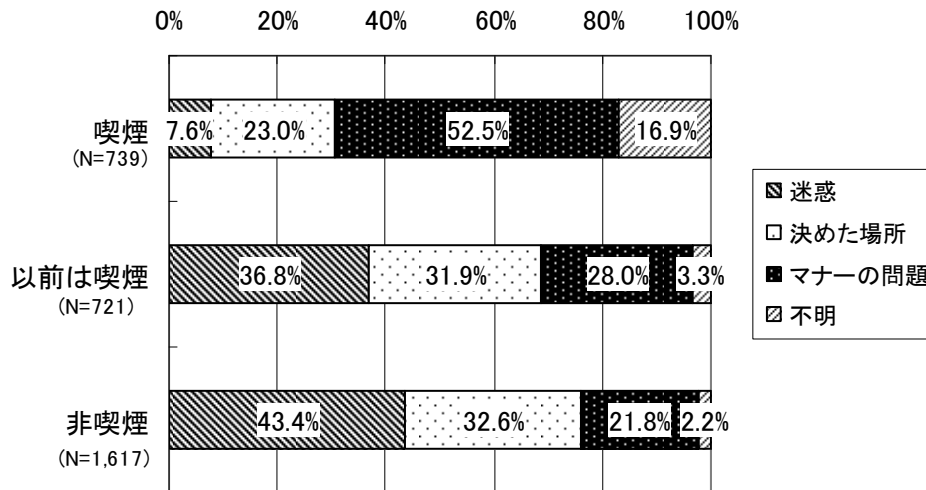
	件数	割合
迷惑なのでやめてもらいたい【迷惑】	1,030件	33.2%
決めた場所で吸ってほしい【決めた場所】	936件	30.2%
喫煙者のマナーの問題である【マナーの問題】	945件	30.5%
不明	187件	6.0%
合計	3,098件	100%



路上喫煙についての意見では、「迷惑であるのでやめてもらいたい」という意見が若干多く、全体の3分の1を占めているものの、「決めた場所で吸ってもらいたい」という意見と「喫煙者のマナーの問題である」という意見も3割程度占めている。

【参考】喫煙状況別 路上喫煙への意識 クロス集計

	喫煙	以前は喫煙	非喫煙	不明	合計
迷惑	56 件	265 件	702 件	7 件	1,030 件
	7.6%	36.8%	43.4%	33.3%	33.2%
決めた場所	170 件	230 件	527 件	9 件	936 件
	23.0%	31.9%	32.6%	42.9%	30.2%
マナーの問題	388 件	202 件	352 件	3 件	945 件
	52.5%	28.0%	21.8%	14.3%	30.5%
不明	125 件	24 件	36 件	2 件	187 件
	16.9%	3.3%	2.2%	9.5%	6.0%
合計	739 件	721 件	1,617 件	21 件	3,098 件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

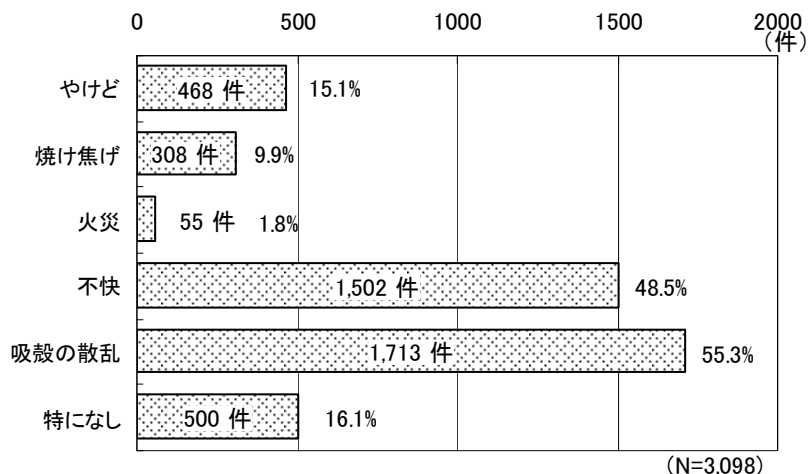


喫煙状況別に路上喫煙への意識をみると、喫煙者の半数以上が路上喫煙は、マナーの問題であると認識しているが、一方で喫煙者であっても路上喫煙は迷惑なのでやめてほしいという意識を持っている人が7.6%いる。また、非喫煙者の中で43.4%の人が迷惑だと感じており、さらには、喫煙経験のある人であっても路上喫煙を迷惑だと考える人が最も多い(36.8%)という結果になっている。

## 7. 路上喫煙による被害等の経験

質問5 路上での喫煙により被害を受けた(受けそうになった)ことや、不快な思いをしたことがありますか。(複数回答可)

	件数	割合
自分や自分の子などが火傷を負わされた、あるいは負わされそうになった 【やけど】	468 件	15.1%
衣服などを焦がされた、あるいは焦がされそうになった 【焼け焦げ】	308 件	9.9%
たばこの火の不始末により火災(ぼや)があった 【火災】	55 件	1.8%
たばこの煙やにおいで不快な思いをした 【不快】	1,502 件	48.5%
吸い殻の散乱が見苦しい 【吸い殻散乱】	1,713 件	55.3%
特に被害を受けた(受けそうになった)ことや不快な思いをしたことはない 【特になし】	500 件	16.1%
総数(N)	3,098 件	100%



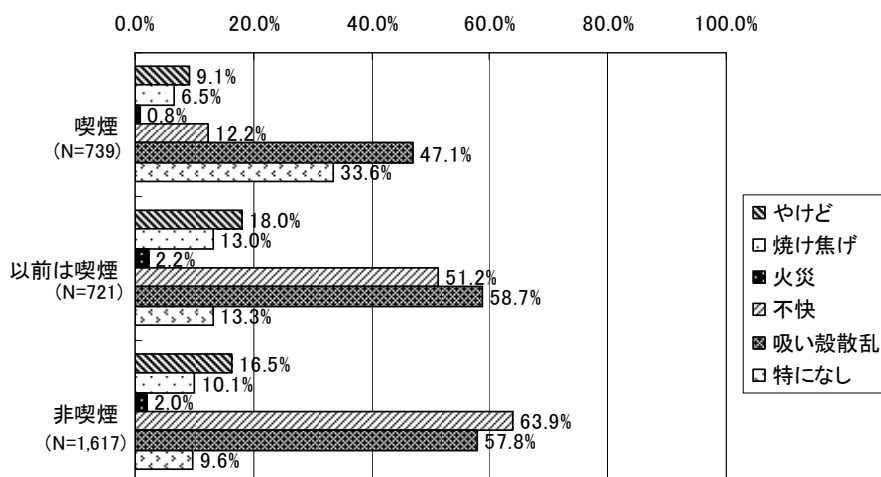
路上喫煙の被害等の経験については、最も多いのが、吸い殻の散乱が見苦しいという意見で、全体の 55.3%の人が回答をしている。また、たばこの煙やにおいを不快だと感じている人も約半数（48.5%）いることが分かる。

また、やけどや焼け焦げについての経験もそれぞれ、15.1%、9.9%あり、事故につながる可能性がありうるという結果が分かる。

【参考】喫煙状況別 路上喫煙における被害等の経験 クロス集計

	やけど	焼け焦げ	火災	不快	吸い殻散乱	特になし	総件数
喫煙	67件	48件	6件	90件	348件	248件	739件
	9.1%	6.5%	0.8%	12.2%	47.1%	33.6%	100.0%
以前は喫煙	130件	94件	16件	369件	423件	96件	721件
	18.0%	13.0%	2.2%	51.2%	58.7%	13.3%	100.0%
非喫煙	266件	164件	32件	1,033件	934件	156件	1,617件
	16.5%	10.1%	2.0%	63.9%	57.8%	9.6%	100.0%
不明	5件	2件	1件	10件	8件	0件	21件
	23.8%	9.5%	4.8%	47.6%	38.1%	0.0%	100.0%
合計	468件	308件	55件	1,503件	1,715件	501件	3,098件

※「以前は喫煙」と「非喫煙」における「不快」の件数は、合計1,402件で2,338件の60.0%にあたる。

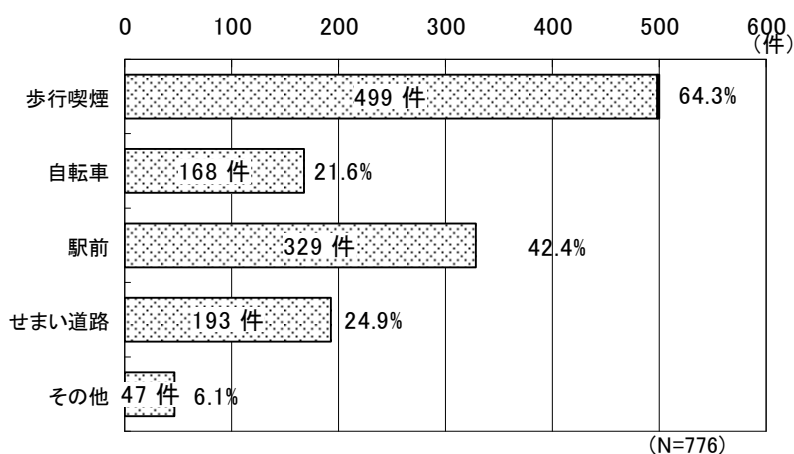


喫煙状況別に被害等の経験をみると、相対的に喫煙者における被害意識は少ないことが分かる。特に、煙を不快と感じるかどうかについては、喫煙者と非喫煙者（過去に喫煙していた者を含む）において大きく隔たりがあり、喫煙者では、12.2%であるのに対し、非喫煙者では、全体で6割が路上での喫煙時の煙やにおいに不快な思いをした経験を持っている。

## 8. 被害時の喫煙者の状況

質問6 それは相手がどのようなときでしたか。(複数回答可)

	件数	割合
歩きながらたばこを吸っていたとき【歩行喫煙】	499 件	64.3%
自転車に乗りながらたばこを吸っていたとき【自転車】	168 件	21.6%
駅前などの人の多いところですれ違うとき【駅前】	329 件	42.4%
せまい道路上ですれ違うとき【せまい道路】	193 件	24.9%
その他【その他】	47 件	6.1%
合計	776 件	100%



やけどや焼け焦げの被害を受けた人について、そのときの相手（喫煙者）の状況を聞くと、経験者の 6 割以上の方が回答しているとおおり、歩きながらたばこを吸っていたときが多いことが分かる。

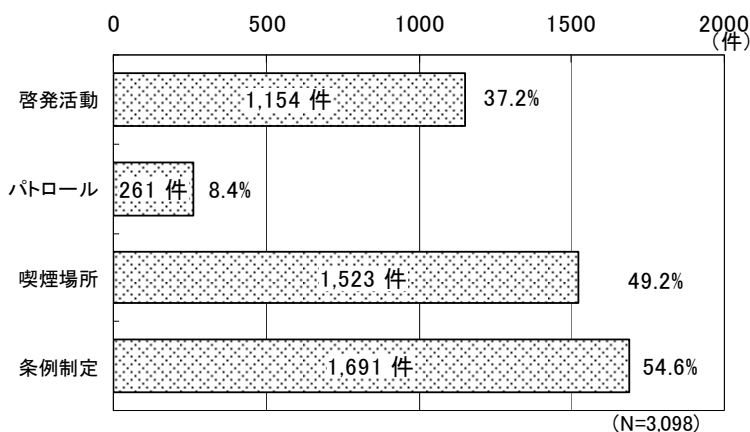
また、駅前などの人の多いところですれ違うときにやけどや焼け焦げの被害を負ったまたは被害を受ける可能性があったという人が半数程度おり、「せまい道路上ですれ違うとき」も 3 割弱の人が経験をしている。

## 9. マナー向上の手法

質問7 路上での喫煙のマナー向上のためには、どうすれば効果があると思いますか。

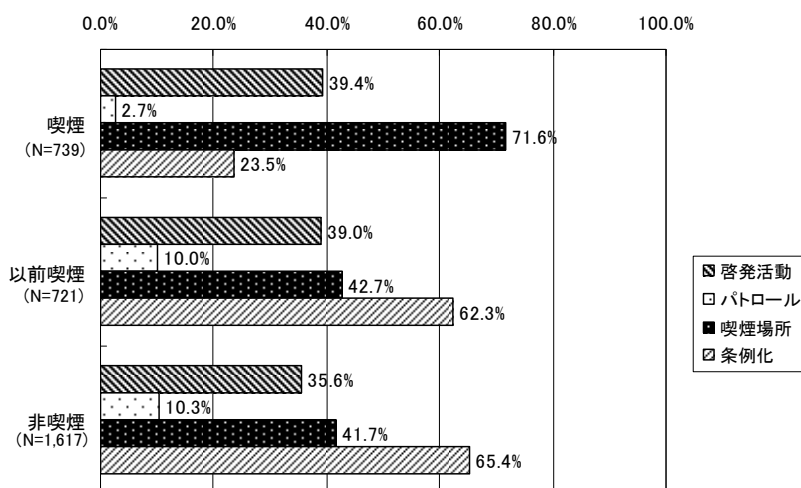
(複数回答可)

	件数	割合
啓発活動	1,154 件	37.2%
パトロール	261 件	8.4%
喫煙場所	1,523 件	49.2%
条例制定	1,691 件	54.6%
合計	3,098 件	100%



【参考】喫煙状況別 マナー向上の手法 クロス集計

	啓発活動	パトロール	喫煙場所	条例化	総件数
喫煙	291 件	20 件	529 件	174 件	739 件
	39.4%	2.7%	71.6%	23.5%	100.0%
以前喫煙	281 件	72 件	308 件	449 件	721 件
	39.0%	10.0%	42.7%	62.3%	100.0%
非喫煙	576 件	167 件	675 件	1,057 件	1,617 件
	35.6%	10.3%	41.7%	65.4%	100.0%
不明	6 件	2 件	11 件	11 件	21 件
	28.6%	9.5%	52.4%	52.4%	100.0%
合計	1,154 件	261 件	1,523 件	1,691 件	3,098 件



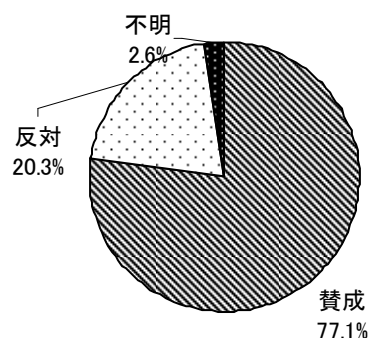
マナー啓発の手法については、喫煙者は喫煙場所の設置を求めるという意見が71.6%出されている一方で、パトロールや条例化を求める意見は少ない。逆に、非喫煙者については、6割以上の方が条例化を求めていることが分かる。

また、啓発活動を実施することに関しては、喫煙者、非喫煙者を問わず4割程度が効果的であると考えていることが分かる。

### 10. 路上喫煙禁止区域の設定

質問8 路上での喫煙を制限する区域についてどう思われますか。(いずれかひとつ)

	件数	割合
賛成	2,390 件	77.1%
反対	629 件	20.3%
不明	79 件	2.6%
合計	3,098 件	100%

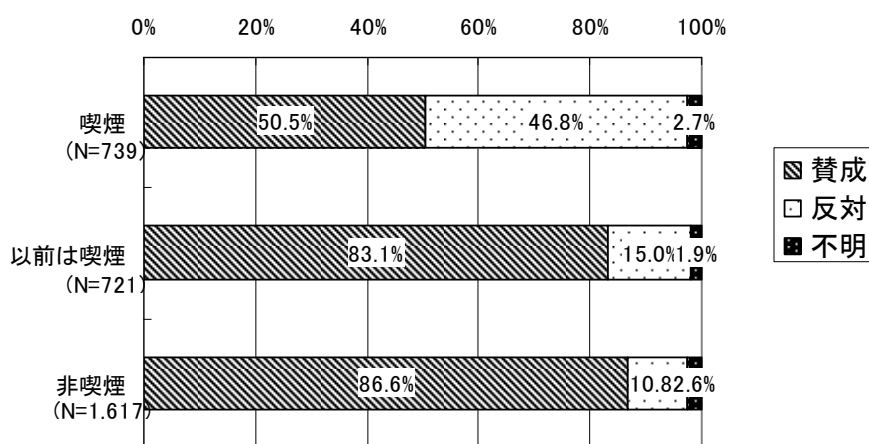


路上での喫煙を禁止する区域の設定については、4分の3以上の方が賛成をしている。

【参考】喫煙状況別 路上喫煙禁止区域の設定 クロス集計

	喫煙	以前は喫煙	非喫煙	不明	合計
賛成	373 件	599 件	1,401 件	17 件	2,390 件
	50.5%	83.1%	86.6%	81.0%	77.1%
反対	346 件	108 件	174 件	1 件	629 件
	46.8%	15.0%	10.8%	4.8%	20.3%
不明	20 件	14 件	42 件	3 件	79 件
	2.7%	1.9%	2.6%	14.3%	2.6%
合計	739 件	721 件	1,617 件	21 件	3,098 件
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※「以前は喫煙」と「非喫煙」における「賛成」の件数は、合計 2,000 件で 2,338 件の 85.5%にあたる。



路上喫煙禁止区域設定について、喫煙状況別にみると、喫煙者の中でも半数以上が賛成をしている状況が分かる。また、非喫煙者については、85%以上の人が禁止区域の設定に賛成をしている。

## Ⅲ 調査結果（項目 9 自由意見）

### 1. 自由意見の集計

「※ その他、路上での喫煙に関するご意見がありましたら裏面に記載をしてください。」に対して記載された内容を「自由意見」として集計

自由意見の記載は、全体で 610 件。すべてのアンケート（3,098 件）のうち、19.7%に何らかの意見記載があった。

以下に主な意見をまとめて記載する。

#### 【美化の観点からの意見として主なもの】

- ・ 道端で見かけるごみの中では特にたばこの吸い殻が特に目立つ。
- ・ 喫煙するときの配慮は、喫煙者のマナーの問題ではあるが、何らかの規制をしないとポイ捨てまでにはならない。
- ・ 誰かが捨てると誰かが掃除をしなくてはいけない。ボランティアで清掃活動をしている人がいるということを知ってもらいたい。

全般的に、吸う行為については、喫煙者、非喫煙者などで意見が分かれるものの、ポイ捨てをするという行為については、喫煙者、非喫煙者ともにマナー違反であるという意見が多い。ポイ捨てがなくなる現状からみても、規制をするということだけでなく、効果的な対策が求められている。

#### 【安全の観点からの意見として主なもの】

- ・ 歩きながらたばこを吸っている人のたばこの火が子どもや車椅子の人に当たった、当たりそうになったことがある。
- ・ 歩きたばこや自転車などに乗りながらの喫煙は、ポイ捨てにつながる。
- ・ 自転車やバイクに乗りながらの喫煙は、特に周りへの配慮もできず危ない。
- ・ 自分自身または自分の子どもの実際の経験を記載しているものが多く、歩行喫煙が危険な行為につながる可能性があることが分かる。

自分自身または自分の子どもの実際の経験を記載しているものが多く、歩行喫煙が危険な行為につながる可能性があることが分かる。

#### 【健康の観点からの意見として主なもの】

- ・ 後ろを歩くのは不快である。（中には、のどが痛む、頭痛がするなどの意見も）
- ・ 立ち止まって吸ってもらえると避けて通れるが、歩きながら吸われると煙を避けることができないので困る。
- ・ 狭い道、信号待ちなどの避けられない場所での喫煙はやめてほしい。

喫煙そのものを否定するような意見は少なく、歩きたばこをする行為や、吸う場所によって周りへの配慮を怠ると不快感を与えるという意見が多数であった。

#### 【そのほか条例化に賛成する意見の一例】

- ・ 通学路などではたばこを吸わないほうがいい。
- ・ 自分が喫煙をしていたころは気がつかなかったが、吸うのをやめると喫煙者のマナーの悪さに目がいくようになった。
- ・ 喫煙はマナーの問題であるものの、喫煙者と非喫煙者、両方の立場から相容れない課題でもあるため、一定のルールを行政が定めるべきではないか。

たばこそのものを国で廃止するべきだという極端な意見もいくつか散見されるが、喫煙者の立場であってもルール化が必要であるという意見もいくつかあった。

【喫煙者の立場からの意見として主なもの】

- ・ たばこは憩いやストレス発散に欠かせないもの。マナーを守れば吸ってもいいのでは。
- ・ 人の少ないところで吸うならいいのではないか。
- ・ 喫煙そのものを否定され、全面禁煙になると、どこで吸っていいのかわからない。吸える場所を確保してほしい。

たばこをストレス発散の手段として愛用している人もおり、危険でない場所で、きちんと処理することを前提に、喫煙を否定しないよう求める声が多い。

【そのほか条例化に反対する意見の一例】

- ・ 罰則を科すとなると費用もかかり、費用対効果でマイナスになるのではないか。
- ・ マナー意識の啓発が大事であり、条例化したからそれで解決するという問題ではない。
- ・ 行政が規制を強める風潮はよくない。

たばこを吸うのは自由だからルール作りは不要であるという意見も若干見受けられるものの、多くは、マナーを守る啓発などをすすめ、ルールを決めることが大事だという意見であった。

【自由意見を踏まえて】

喫煙者、非喫煙者の双方の立場から多くの意見が出されており、どちらの意見も無視することはできない。喫煙そのものを否定するような内容の条例にはしてほしくないという喫煙者の意見を踏まえながら、ポイ捨てという行為をなくすこと、危険や周囲への不快感につながる状況をなくしていくことが大切である。

過去に喫煙経験を持つ人が、喫煙していたころには気づかなかったと回答しているように、立場が違えば意見が変わることもある。中立的な立場の人の意見を重視しつつ、より多くの人の意見を踏まえて、多くの人々が納得できるルール作りをすることが重要であることが分かる。その上で、ルールを守らない人をきちんと注意できるなど、ルールを徹底できる仕組みづくりをすすめることが必要とされている。

# IV 路上における喫煙に関するアンケート調査票

調査票（表面）

## 路上における喫煙に関するアンケート調査

八尾市

以下の質問について該当するものにレ点を記してください。

- あなたのことについてお聞かせください  
(性別)  男  女 (居住地)  八尾市内  八尾市外  
  
(年齢)  20歳未満  20歳代  30歳代  40歳代  
 50歳代  60歳代  70歳以上
- あなたはたばこを吸われますか(いずれかひとつ)  
 吸っている } 3へ進んでください  
 以前は吸っていたが、今は吸っていない }  
 たばこを吸ったことがない } 4へ進んでください
- 路上で吸ったたばこの吸い殻を主にどうしていますか(いずれかひとつ)  
 灰皿がある場所でたばこを吸い、灰皿に捨てている  
 持ち歩いている携帯用の灰皿に捨てている  
 道路や溝などに捨てている  
 路上でたばこは吸わない
- あなたは路上での喫煙についてどのように思われますか。(いずれかひとつ)  
 迷惑なのでやめてもらいたい  
 決められた場所で吸ってもらいたい  
 喫煙者のマナーの問題である
- 路上での喫煙により被害を受けた(受けそうになった)ことや、不快な思いをしたことがありますか。(複数回答可)  
 自分や自分の子などが火傷を負わされた、あるいは負わされそうになった }  
 衣服などを焦がされた、あるいは焦がされそうになった } 6へ進んでください  
 たばこの火の不始末により火災(ぼや)があった }  
 たばこの煙やにおいで不快な思いをした }  
 吸い殻の散乱が見苦しい } 7へ進んでください  
 特に被害を受けた(受けそうになった)ことや不快な思いをしたことはない }
- それは相手がどのようなときでしたか(複数回答可)  
 歩きながらたばこを吸っていたとき  
 自転車に乗りながらたばこを吸っていたとき  
 駅前などの人の多いところですれ違うとき  
 せまい道路上ですれ違うとき  
 その他
- 路上での喫煙のマナー向上のためには、どうすれば効果があると思いますか(複数回答可)  
 喫煙者のマナー向上のための啓発活動をする  
 市や市民などがパトロールをする  
 喫煙場所の設置をする  
 路上での喫煙を規制する条例・規則の制定をする
- 路上での喫煙を制限する区域についてどう思われますか(いずれかひとつ)  
 路上喫煙禁止区域を設定することに賛成である  
 路上喫煙禁止区域を設定することに反対である

※ その他、路上での喫煙についてご意見等ございましたら裏面に記載をしてください。





**「路上における喫煙に関するアンケート調査報告書」**

平成22年（2010年） 1月 発行

編集・発行 八尾市経済環境部環境保全課

〒581-0017 八尾市高美町5-2-2

☎（072）924-9359 直通

刊行物番号 H21-104